

卒業式

思い出を胸に未来へ

市内の小中・義務教育学校で卒業式が行われました。3月12日に式典が開かれた中台中学校の卒業生は72人。担任の先生から名前を呼ばれると、はっきりと返事をして卒業証書を受け取りました。恩師・保護者への感謝や後輩へ

の激励の言葉を贈る答辞の場面では、あふれる思いをこらえきれず、涙ぐむ卒業生の姿も。思い出の詰まった校舎や仲間との別れを惜しみながらも、明るい未来への一步を踏み出しました。



1



2



3

- 1 卒業証書を受け取る
- 2 歌声に思いを込めて
- 3 恩師や保護者に感謝の言葉を



華麗なドリブルでボールをキープ

うなりくんカップ女子サッカー大会 2/28



6チームが熱い試合を展開

女子サッカーを広めようと「うなりくんカップ女子サッカー大会」が重兵衛スポーツフィールド中台球技場で開催されました。参加したのは市内チームの「オール成田」をはじめ、県内外6つの女子サッカーチーム。2グループに分かれてのリーグ戦の後、順位決定戦を行いました。初戦からボールを奪おうと激しく競り合う場面が出るなど、熱を帯びた試合が展開されました。

書道・陶芸・絵画展 3/4~11



趣のある作品がずらり

生涯大学院の学生が制作した作品を展示する「書道・陶芸・絵画展」が、なごみの米屋 スカイタウンギャラリーで開催されました。書道61点・陶芸287点・絵画41点が飾られた会場には、作品をじっくりと鑑賞する人の姿が。案内係を務める同大学院の学生から制作当時の話などを聞くと「細部まで丁寧に作られていて、見応えがある」と話していました。



会場いっぱいに作品が並び



京風七宝焼き教室 3/6



美しい色合いのアクセサリーが完成

優美な色彩が魅力の七宝焼きでアクセサリー作りに挑戦する「京風七宝焼き教室」が三里塚コミュニティセンターで行われました。ネックレスなどの土台となる金属に銀箔を貼り、その上から釉薬で色を付けるのが京風七宝焼きの特

徴。講師から釉薬を縁まで薄く均一に伸ばすことが美しく発色させることと教わった参加者は、竹のへらと筆で慎重に色をのせました。800度を超える高温の窯で焼き上げると、世界に一つだけの作品が完成しました。



- 1 釉薬で鮮やかな色を付ける
- 2 講師に教わりながら
- 3 自分だけのアクセサリーが出来上がり

映画上映会・講演会 3/7



介護職の魅力を感じて

介護への理解を深めてもらおうと「映画上映会・講演会」が国際文化会館で開催されました。上映されたのは、認知症ケアや介護職の魅力などを描いた「ケアニン～あなたでよかった」。新人介護福祉士の主人公が悩みながらも成長していく姿に涙を流す人も。上映後は映画のモデルとなった施設の代表者による講演も行われ、参加者は「利用者に寄り添った介護の大切さを学んだ」と話していました。



介護現場での体験を語る



感謝状を手に

人命救助感謝状贈呈式 2/28



AEDで尊い命を救う

なごみの米屋ぴーちゃんフィールド大谷津スケートボードパーク内で倒れた男性を迅速な対応で救った石井紀夫さんに消防長から感謝状が贈られました。石井さんは男性の反応がないことを確認すると、直ちに119番通報し、胸骨圧迫を開始。AED到着後は電気ショックを行い、救急隊が到着するまで救命活動を続けました。感謝状を受け取ると「周りの人の協力もあって助けられた」と話しました。